

北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の整備に関する有識者会議(第5回)

議事概要

令和5年12月27日(水) 14:00~15:30

於:中央合同庁舎2号館1階共用会議室3B

各委員からの主な意見

- トンネル工事において地質不良が見込まれる区間については、追加の地質調査を検討するなどして、今後掘削する地盤の見立てをどうつけるかが重要である。
- 工程の工夫策は、それぞれの工区の進捗状況、地盤の状況、地理的な条件などを十分に勘案の上、どの工区にどのような策を適用するのが効果的なのかを考えて実施していくべき。
- 土木工事の工程の工夫策は、その後の設備工事や開業監査等を含めた全体工程も見据えながら検討していく必要がある。
- トンネル工事については、工程の確保も重要であるが、開業後に不具合を生じさせることがないように、品質の確保にも留意してほしい。
- 北海道内の建設人材を巡る状況等についても注視する必要がある。
- 新幹線事業と駅周辺のまちづくりは密接に連携して進めていく必要があることから、早い時期から関係自治体と情報共有していくことは大事である。